

コウノトリとトキ

Black-faced spoonbill / *Platalea minor* / Kurotsurahera-sagi / クロツラヘラサギ

東アジアのみの生息する 73-81cm ほどの体長を持つこのヘラサギは絶滅危惧種として指定され、6 種のヘラサギの中でももっと希少で小型である。冬には奄美大島の干潟に渡るが、夏も過ごす鳥もたまに存在する（要確認）。黒い脚以外は全身が白く、羽のない黒い顔面には、長く黒いスプーン型のくちばしがある。繁殖期には冠羽や胸部に黄色みをおびる。餌を取る際は開いたくちばしを水中に入れ、頭を左右に動かし、魚や甲殻類を濁った水でも効果的に捕らえることができる。

Eurasian spoonbill / *Platalea leucorodia* / Herasagi / ヘラサギ

ヘラサギはクロツラヘラサギより多く生息するが、奄美大島や日本の南の島では珍しい訪問者である。胴体、翼、尾羽と頭は白く、黒いくちばしの先端は黄色い。繁殖期にはくちばしの黄色い部分が広がり、後頭部に目立つ黄色っぽい冠羽が現れる。効率をよくするため、ヘラサギは集団で動き、水生昆虫、両生類、甲殻類、小魚など浅瀬で餌を取ることが多い。和名のヘラサギは「篋鷺」から由来している。